**様式第１－１－１（第５条第２項関係）**

申請者独自の文書管理番号があれば記入

（なければ空欄）

第　 ３０００１号

1

平成３０年○○月○○日

2

申請日（3/28～5/9の間）を記入

国土交通大臣 殿

3

住 　　所　○○県千代田市大手町1-2-3

申請する宿泊施設の住所・名称・代表者名を記入して押印

名称（施設名）ホテル千代田

代　 表 　者 観光　太郎　 ㊞

※必要に応じて記入

運営会社等の情報を必要に応じて記入（施設名情報と同様の場合は記入不要）

会社等住所　東京都千代田区有楽町2-4-6

会社等名称　株式会社インバウンド

代表者　山田　太郎

4

平成２９年度宿泊施設バリアフリー化促進事業計画認定申請書

訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金交付要綱第５条第２項柱書きの規定に基づき、別紙のとおり関係書類を添えて申請します。

**様式第１－１－１　別紙１－１**

申請する宿泊施設名を記入

（宿泊施設バリアフリー化促進事業計画）

「補助事業」と「自主事業」の違いが分かるように記入

|  |  |
| --- | --- |
| 名称5 | ホテル千代田 |
| 住所（申請者の住所と宿泊施設の住所が異なる場合はこれを含む）5 | 【宿泊施設】運営会社等の情報を必要に応じて記入。施設名情報と同様の場合は記入不要。※認定書類等は宿泊施設宛てに送付します〒○○○―○○○○○○県千代田市大手町１－２－３【運営会社】〒○○○―○○○○東京都千代田区有楽町2-4-6　株式会社インバウンド |
| 事業内容6 | 旅館業法に基づく旅館業 |
| 総客室数7 | ８０室建築基準法に基づく建築確認証の交付を受けた日を記入 |
| 建物竣工年月8 | （西暦）　１９９８年６月４日　（築２０年） |
| 延床面積・階数・構造9 | 延床面積〔１８,６７９〕㎡　　〔地上６階、地下１階〕　構造：〔鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造および鉄筋コンクリート造〕建築基準法に基づく建築許可を受けた延床面積・階数・構造を記入 |
| 代表者氏名10 | 観光　太郎宿泊施設の代表者・連絡先電話番号を記入 |
| 連絡先10 | ０１－２３４５－６７８０現状なければ「０」を記入 |
| 宿泊事業者の宿泊施設のバリアフリー化の現在の整備状況及び整備目標11 | ＜バリアフリー化の現状＞別紙１－２のチェックボックスを記入※バリアフリールーム（\*）の数：〔２〕室\* 高齢者、障害者等の移動の円滑化の促進に関する法律施行令第１５条第１項に基づく車いす使用者用客室 |
| ＜整備目標（平成31年度末）＞今回の補助事業にて整備するもの及び今後、自主事業にて整備するものにより、平成31年度末までに、施設全体としてどのようなバリアフリー化を行うか記載以下の事業を実施することより、建築設計標準を満たすバリアフリー化を実現する。【今回の補助事業】　１階共用部に車いす使用者用トイレの設置【今後の自主事業】客室のバリアフリー化を３室整備する「自主事業」は下記13における表記と整合をとること２階共用部に車いす使用者用トイレを設置する。※バリアフリールーム(\*)の数：〔５〕室 |
| 宿泊事業者の訪日外国人宿泊者数の合計の現状（平成29年度）延べ人数（3人が2泊した場合は、6人でカウント）12 | 平成29年度 | 訪日外国人宿泊者数（人） | 全宿泊者数（人） |
| 第１四半期（H29.4～H29.6） | ４４０ | ６，３００ |
| 第２四半期（H29.7～H29.9） | ７３０ | ５，５００ |
| 第３四半期（H29.10～H29.12） | 　　３９０ | ６，２００ |
| 第４四半期（H30.1～H30.3） | ３００ | ４，１２０ |
| 事業内容 | 具体的な内容②共用部のトイレを改修する例を表示しています13 | １．今回の補助事業にて整備する場所①旅館・ホテルの客室での躯体工事等を伴わない改修等１　客室出入口　　２　トイレ　　３　浴室　　４　洗面５　その他（　　　　　　　）②旅館・ホテルの共用部の改修、客室の統合等を伴う大規模改修１　施設の出入口（直接地上に通ずるもの）　　２　１以外の出入口３　廊下その他これに類するもの　　４　階段　　５　傾斜路　　６　エレベーターその他昇降機７　トイレ　　８　敷地内の通路　　９　駐車場　 10　標識　　11　案内設備12　案内設備までの経路 13 客室（大規模改修）14 その他（　　　　　　）２．今回の補助事業により整備する内容（上記場所ごとに下記より記載）１　手すり　　２　スロープ（傾斜路）３　出入口・廊下幅の拡幅４　エレベーター・段差解消用昇降機の設置５　車いす使用者用便房への改修６　オストメイト用設備への改修７　車いす利用者が利用しやすい浴槽への改修８　高さの調節が可能なシャワーバーの設置９　レバー式水栓金具への改修10　着脱・高さ調整可能な車いす対応ハンガーラックへの改修11　視覚障害者誘導用ブロックの敷設12　段鼻の滑り止めの改修13　点字、音声等による案内板の設置14　ピクトサインの設置15　その他宿泊施設のバリアフリー化を促進するために必要であると大臣が認めた事業２．今回の補助事業にて整備する内容（上記場所ごとに記載）①旅館・ホテルの客室での躯体工事等を伴わない改修等・　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（数字）・　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（数字）②旅館・ホテルの共用部の改修、客室の統合等を伴う大規模改修・１階共用部に車いす使用者用トイレの新設　　　（数字）１箇所　□（←施設外の道等から客室までの経路上にある場合はチェック）「自主事業」は上記11における表記と整合をとること・　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（数字）　□（←施設外の道等から客室までの経路上にある場合はチェック）３．今後自主事業等（今回の補助事業以外の事業）にて整備する場所（上記場所ごとに記載）・客室のバリアフリー化　　　　　　　　　　（数字）３客室・２階共用部に車いす使用者用トイレの設置　（数字）１箇所 |
| 実施時期14補助事業は、本計画認定後（H30.6メド）に、補助金交付決定を受けてから実施 | 平成30年6月　共用部におけるバリアフリートイレ（個室）設置工事の再度の見積り比較で再確認後、業者へ発注　(交付申請用に改めて見積りを依頼)平成30年7月　補助金の交付決定平成30年7月　発注先との詳細打合せ　　　　　　 (日程・見積りに係る調整を行う)平成30年9月　共用部におけるバリアフリートイレ工設置工事開始平成30年11月　工事完了・事業経費支払 |
| 必要な資金の額及びその調達方法・必要な資金は消費税抜きで算出・単価×工事箇所にて事業経費の算出根拠が分かるように記載・補助金額に千円未満の端数が出る場合は、これを切り捨てる15 | 1. 補助対象事業の経費内訳

補助対象事業　【②の７】車いす使用者用便房への改修（単価）7,500,000円 ×（工事箇所）1台　＝ 7,500,000円（税抜） ２．補助対象経費計 　　　　　　　　　 7,500,000円（税抜）３．補助金交付申請額(税抜・千円未満切捨て)　　補助対象経費計 7,500,000円×1/2以内 ⇒ 3,750,000円（税抜）４．補助金対象経費の調達方法自己資金　　　　　　　　　1,750,000円補助金　　　　　　　　　　3,750,000円金融機関等からの借入金　　2,000,000円その他　　　　　　　　　　　　　　0円合計額(税抜)　 　　　　　7,500,000円 |

**様式第１－１－１　別紙１－２**

宿泊事業者の宿泊施設のバリアフリー化の現在の整備状況に関して、次に掲げる項目について該当するものについて右欄をチェック（該当するものは「○」該当しないものは「×」設備そのものがない場合等は「／」）

16

|  |  |
| --- | --- |
| 施設等 | チェック項目 |
| 玄関から客室への経路上 | 階段・段が設けられていないか。（傾斜路又はエレベーターその他の昇降機を併設する場合は除く） | ○ |
| 玄関から客室への経路上の出入口 | 幅は８０cm以上であるか。 | ○ |
| 車いす使用者が通過しやすく、前後に水平部分を設けているか。 | ○ |
| 玄関から客室への経路上の廊下等 | 幅は１２０cm以上であるか。 | ○ |
| 車いす使用者が通過しやすく、前後に水平部分を設けているか。 | ○ |
| 玄関から客室への経路上の傾斜路 | 幅は１２０cm以上であるか。 | ○ |
| 階段・傾斜路 | 手すりを設けているか。（踊場を除く） | × |
| 共用部の便所 | 手すりが設けられているか。 | × |
| 車いすで利用しやすいよう十分な空間が設けられているか。 | × |
| 客室 | 車いす使用者用客室を設けているか。 | ○ |
| 便所に車いすで利用しやすいよう十分な空間が設けられているか。 | ○ |
| 便所の出入口の幅は８０cm以上であるか。 | ○ |
| 便所の出入口は車いす使用者が通過しやすく、前後に水平部分を設けているか。 | ○ |
| 浴室に手すりが設けられているか。 | ○ |
| 浴室に車いすで利用しやすいよう十分な空間が設けられているか。 | ○ |
| 浴室の出入口の幅は８０cm以上あるか。 | ○ |
| 浴室の出入口は車いす使用者が通過しやすく、前後に水平部分を設けているか。 | ○ |

**様式第１－１－１　別紙２**

事業の実施により上記整備目標の達成が見込まれる理由

17

2020オリパラ東京大会に向けてホストタウンの認定を受けたことによる地域の受入環境整備の強化される中で、地元金融機関からの融資とあわせ、今般の補助金利用を活用して、当ホテル１階共用部における車いす使用者用トイレを新設する。

これにより、当ホテルにおいて高齢者、障害者等の移動等に配慮した建築設計標準を満たすバリアフリー化が実現し、緊急時における高齢者、障害者等を含めた訪日外国人旅行者による当該施設の利用が可能となる。

記入例を参考に、実施する事業内容等に応じて適宜修正記入

**様式第１－１－１　別紙３**

訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金交付要綱第５条第２項第８号に基づき、宿泊施設バリアフリー化促進事業計画に関し、事業を行うこと並びに同要綱に基づく大臣への報告及び当該報告に係る大臣による公表について同意いたします。

18

名　　　称 ホテル千代田

代表者氏名　観光　太郎 　印

申請する宿泊施設名称及び代表者名を記入

以上